

事業活動温暖化対策計画の実施状況に関する事項										2023 年度	
住 所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）				東京都豊島区東池袋1-24-1 ニッセイ池袋ビル							
氏 名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）				ミライアル株式会社 代表取締役 兵部 匡俊							
事 業 概 要				製造業 プラスチック製品製造業							
該 当 す る 事 業 者 要 件				☒ 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者（大規模エネルギー使用事業者） ☐ 熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者（自動車運送事業者） ☐ 特定事業者以外の事業者							
計 画 期 間				2022 年度 ～ 2026 年度							
事業活動温暖化対策計画書に定めた措置の実施状況				総合的に地球温暖化対策を推進し、2026年度原単位温室効果ガス排出量を2021年度比で5%削減する。							
温室効果ガス算定排出量の状況等	温室効果ガス算定排出量の削減手段による削減量	年度区分	基準年度 (2021)年度	前年度 ()年度	計 画 期 間					目 標 年 度 (2026)年度	
		①排出量 t-CO ₂	5,524		(2022)年度	(2023)年度	()年度	()年度	()年度	5,247	
		増 減 率 (基 準 年 度 比)			△ 4.3 %	28.0 %	%	%	%	△ 5.0 %	
		補完的 手段による 削減量	森 林 の 整 備 及 び 保 全 (t-CO ₂)								
			再 生 可 能 エ ネ ル ギ ー を 利 用 し た 電 力 又 は 熱 の 供 給 (t-CO ₂)	428	434						
			グリーン電力証書又はグリー ン熱証書の購入(t-CO ₂)								
			そ の 他 知 事 が 認 め る も の (t-CO ₂)								
		②合計(t-CO ₂)		428	434						
		① - ② 差 引 後 排 出 量 (t-CO ₂)		4,860	6,635						
		差 引 後 増 減 率 (基 準 年 度 比)		△ 12.0 %	20.1 %	%	%	%	%		
		原単位 算定 排出 量等	排 出 量 t-CO ₂	1.164		0.864	1.573				1.106
			増 減 率 (基 準 年 度 比)			△ 25.8 %	35.1 %	%	%	%	△ 5.0 %
			差 引 後 排 出 量 (t-CO ₂)								
			差 引 後 増 減 率 (基 準 年 度 比)			%	%	%	%	%	
			原 単 位 の 考 え 方		温室効果ガス排出量(t-CO ₂)／総原料使用量(t)						
計画の進捗又は達成の状況等				2023年からの設備投資に対し、半導体市況の低下にともない生産実績が想定より下回った事が影響、また増産体制に向けて建屋・機械が増え工場全体の電力使用が増大。九州電力の排出係数が増大したのも大きい。							
特 記 事 項											

備考 1 □のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。

2 「計画期間」並びに「基準年度」「前年度」「目標年度」及びそれらの排出量は、提出済の事業活動温暖化対策計画書に一致させてください。

3 「計画の進捗又は達成の状況等」欄には、計画期間における排出量削減の進捗の状況及び計画終了時における事業活動温暖化対策計画書に掲げた温室効果ガスの排出の抑制の量に係る目標の達成又は未達成の理由等があれば、記入してください。

4 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。